



読書・文化活動推進支援を行っている地域おこし協力隊の柴田洸兵が、玉川村内の皆さんに会いに行き、"あなたの好きなこと"をインタビューして、リレー形式で発信します！！



第一村人

ひろかわ まさみ
廣川 昌美さん

インタビュアーは、
地域おこし協力隊の
柴田洸兵です！



柴 田：今日はインタビューを引き受けてください、ありがとうございます！

廣川 さん：いや～、本当に私でいいんですか？
好きなことっていっても、読書くらい
しかないんだけど…。

柴 田：読書推進活動の企画なので、まったく
問題ないです！…むしろ一回目は読書
好きな方にインタビューしたかったの
で、ありがとうございます！

廣川 さん：それならいいんだけど。
ところで、柴田君はどこから来たの？

柴 田：広島県からきました！出身は東京の蒲
田というところなんですが…。

廣川 さん：蒲田！！…むかし蒲田の眼鏡屋さんで
アルバイトしてたよ～。○○っていう
お店なんだけど。

柴 田：えっ！…○○ですか！？ わかりま
す！なんと、蒲田と縁があるとは。急
に親近感湧いてしまいます（笑）

廣川 さん：広島もいいね～。いつか行ってみたい
なあ..。因島とかね。

～自己紹介が盛りあがり一時間経過～

柴 田：すみません！そろそろ本題にはいりま
すね！

廣川 さん：あ！そうだね！なんでも質問してくだ
さい。

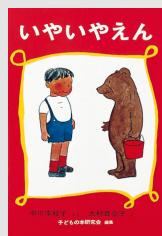
柴 田：では、インタビューはじめます。廣川
さんの好きなことを教えてください！

廣川 さん：私は、さっきも言ったけど、子どもの
ころからよく本を読んでたなあ。
「いやいやえん」「そらいろのたね」
が大好きで何回も繰り返して読んだ。
あとは漫画も好きで、柴田くんは知ら
ないかもしれないけど、「キャンディ
キャンディ」とか（笑）



そらいろのたね

中川李枝子 作 大村百合子 絵



いやいやえん

福音館書店刊

※因島・・瀬戸内海に浮かぶ島。玉川村に来る前に、柴田は因島
の近くに住んでおりました。

裏面に続く..



おこし隊が行く！

たまかわりトーク！



～あなたの好きなこと教えてください～

柴田：知らないです（笑）

廣川さん：柴田くんのお母さんは読んでたかもね～。あとは江戸川乱歩の「少年向け推理小説シリーズ」。このシリーズは全部読んだかな。ミステリーに興味をもつききっかけになった本です。

柴田：全部！本当に本がお好きだったんですね。

廣川さん：小学校のときはね。中学校に進学してからは、アイドル黄金時代だったから、本じゃなくてテレビばっかり観てた。

柴田：ああ～。松田聖子とかキョンキョンとか！ぼく、中森明菜が好きです。

廣川さん：ええ！？なんで～？

柴田：両親の影響ですね。名前も柴田恭兵に由来するぐらいです。

廣川さん：（笑）

柴田：話が脱線してしまいました（笑）
もう二時間経つので、そろそろインタビューを締めたいと思います。
最後に廣川さんのおすすめの本を伺つてもよろしいですか？



江戸川乱歩・少年探偵シリーズ（2）
少年探偵団

江戸川乱歩 著 ポプラ社刊

※残念ながら、クックちゃん文庫にはありません



廣川さん：二時間も経っていたんですね（笑）

はい！私のおすすめの本は、宮部みゆきの『火車』です。

ネタバレしたくないので、多くを語れないのですが、結末が衝撃的でした。面白い本です。

柴田：ありがとうございます！宮部みゆき、面白いですよね。
ぜひ、読んでみます！

気が付いたら、二時間以上も話していました。数か月にわたって連載したいほど、たくさんお話をしてくださいました。本当に読書がお好きなんだと伝わってきて、同じ本好きとしては、同志を見つけたようで嬉しい限りです。

廣川さんはクックちゃん文庫を利用するようになってから、読書の幅が広がったそうです。今後はいつそう大人の方にも足を運んでいただけるような図書室にしたいと思っておりますので、ぜひふらっとお越しください。



火車
宮部みゆき 著
新潮文庫刊

休職中の刑事、本間俊介は遠縁の男性に頼まれて彼の婚約者、関根彰子の行方を捜すことになった。自らの意思で失踪、しかも徹底的に足取りを消して——なぜ彰子はそこまでして自分の存在を消さねばならなかったのか？ いつたい彼女は何者なのか？ 謎を解く鍵は、カード社会の犠牲ともいべき自己破産者の凄惨な人生に隠されていた。山本周五郎賞に輝いたミステリー史に残る傑作。新潮社HPより